

私は、さまよい続けている意識でした。神を求め、真実を求めてさまよい続けていました。今世だけでもたくさんの場所、神社仏閣を訪れました。肉はただ遊びの気持ちで軽い気持ちでと、なかなか自分の他力の反省へとつなげることができませんでした。

でも「私からあなたへ一筆啓上」を見たとき、私は私の心は完全に外に向き、そしてずっとずっとさまよい続けていたと思いました。

私は待ち続けてもらっている存在でした。帰ってきなさいと待ち続けてもらっている幸せな存在でした。

そして私には来世があります。来世、アルバ - トと出会えまたこの学びをつないでいけることを私はこの心で知っています。それが嬉しいと思いました。

田池留吉もアルバ - トも私の心の中にありました。ありがとうございました。未来へとつないでいけることが幸せです。